

株式会社トランスウェブ 環境ポリシー

1. 基本方針

環境に関わる認識の組織定着と高度化を図るべく、経営陣自らが先頭に立ち、以下の事項に取り組んでいきます。

- ・環境にかかわるリスク評価と対応を、重要な経営課題の一つとして継続的に行い、本指針の見直しも含め、高度化していきます。
- ・本指針を含めた、環境配慮の考え方を、組織に浸透するよう、役職員に適切な教育を行います。

2. 取り組む事項と具体的取り組み

- ・GHG 排出量の算定
 - ⇒CO2 排出量削減目標を設定し、年度ごとに排出量の計測、ギャップの判定を行ったうえで、目標達成に向けた取り組みを行います。
- ・エネルギー効率向上/脱炭素化/大気汚染への対策
 - ⇒欧州規準に適合した、環境性能の高い車両を積極的に導入していきます。
 - ⇒電動油圧ユニット付き台車を導入し、積み下ろし時のアイドリングストップを実現していきます。
 - ⇒輸送車両の運行状況をモニタリング、可視化し、環境負荷の低い走行を奨励していきます。
 - ⇒工場、事務所内の LED 化により消費電力を抑制します。
- ・再生可能エネルギーの活用
 - ⇒車両保管時の給電に、太陽光発電による電力を活用していきます。
- ・化学物質の管理
 - ⇒塗装作業において、決められた区域内での作業、決められた手順での作業・廃棄を遵守していきます。
- ・水と土壌の管理
 - ⇒洗浄作業における水の消費を抑えるとともに、舗装面上での使用、排水路の整備、油水分離槽の設置等の対策を行い、土壌・水質汚染を発生させません。
- ・騒音低減
 - ⇒低騒音車両の導入、電動油圧ユニット付き台車の活用も含めたアイドリングストップの励行により、車両に起因する騒音低減に取り組めます。
 - ⇒近隣住宅等の周辺環境に配慮し、必要に応じ、防音壁の設置等を行います。

本指針は、トランスウェブの全役職員に適用されます。

2024 年 10 月 15 日

代表取締役 前澤 武

